

玉名市都市計画マスタープラン策定に係る第1回市民ワークショップ 発表記録

開催日時	平成24年11月26日(月) 午後7時～9時			
開催場所	玉名市民会館 第2会議室			
スタッフ (事務局等)	坂口建設部長 都市計画課 三次課長、松野課長補佐、神永係長、森田主査、森川主任 玉野総合コンサルタント(株) 福岡支店 技術部 まちづくり推進課 松島課長、福満係長、石川係長、井上主任			
参加者 (34名)	北部地区	6名	西部地域	5名
	中部地区	8名	南部地域	5名
	東部地域	5名	南東部地域	5名
欠席者	欠席者 4名 (中部地区 1名、西部地域 1名、南部地域 2名、南東部地域 1名)			

地域名	発表概要
南東部地域	<p>(地域資源) 天水は「みかんと草枕の里」というのが主なイメージなので、それを活かして定住化等のまちづくりにつなげて欲しい。</p> <p>(地域資源) 草枕温泉は本地域を代表する観光資源であり、PR展開も含め有効活用を図りたい。</p> <p>(問題点) 野生鳥獣(イノシシ等)による農作物被害が多発。</p> <p>(地域資源) 尾田の丸池(水源)は水のきれいな憩いの場であり、活用したい。</p> <p>(景観) 特定の区間における道路から見えるみかん畑などの景観がすばらしく自慢できる。</p> <p>(景観) 地域から見る有明海、雲仙方面の眺望もすばらしい。</p> <p>(問題点) 人口が減少しており、まちの中心部は少子高齢化が進み、寂しい。</p> <p>(問題点) 尾田の丸池はすばらしい地域資源であるが、一方でいろんな人が遊びに来るため、騒いだりたまり場になったりという風紀が乱れている一面がある。</p> <p>(問題点) 地域全体的に道路が狭い。</p> <p>(問題点) 急傾斜区域等、土砂崩れ危険箇所が多い。自然災害に対する不安がある。</p>
南部地域	<p>(交通アクセス) 玉名市中心部へのアクセス性が弱い(県道1号が渋滞)。つまり、南北方向の主要な幹線道路が、東西方向に比較して整備されていない。</p> <p>(地域資源) 干拓・大浜飛行場跡・菊池川の河川改修(石塘)など、歴史的にも価値があり、誇るべき地域資源にあふれている。</p> <p>(自然環境) 観光施策として活用できる菊池川、有明海がある。</p> <p>(問題点) 横島には山の上展望公園があるが、大浜と豊水には公園がない。</p> <p>(問題点) 買い物などに利用する大きな産業がない。</p>
西部地域	<p>(景観) 岱明地区は山あり(開田ホテルの里等)海あり(鍋の海岸等)ですばらしい景観がある。</p> <p>(景観) 滑石の桜並木・はぜ並木、高道の彼岸花等の景観がすばらしい。</p> <p>(問題点) まつりをはじめコミュニティ活動が停滞(衰退)している。海水浴場や川沿いの桜・はぜ並木などの地域資源が活かされていない。</p> <p>(防犯・防災) 岱明の中心部は、市内でも防犯等の整備状況がよい。周辺部では通学路なのに街灯や歩道が未整備で危険な箇所が目立つ。</p> <p>(交通アクセス) 国道208号と501号を結ぶ道路が整備されていない。</p> <p>(公共交通) JR 大野下駅はあるが、不便で活用されていない。その他の公共交通(特にバス)が不便であり、交通弱者対策が遅れている。</p>

	<p>(拠 点) 文化施設 (公民館・図書館等) の老朽化が目立つ。支所機能が縮小されて市民サービスが低下した感がある。</p> <p>(その他) 主要産業がないが土地が安いので、今後誘致等を進めて欲しい。</p>
東部地域	<p>(地域資源) “歴史のまち” であり、魅力的な施設・資源が多いが、これらを活かしきれていない。(山部田熊野座神社・梅林天満宮・伊倉両八幡など)</p> <p>(自然環境) 菊池川を活かした地域づくりを行う必要がある。(グリーンベルトの活用等)</p> <p>(交通アクセス) 南北方向のアクセスが弱い。</p> <p>(公共交通) JR 肥後伊倉駅へのアクセス道路がなく、活かされていない。</p> <p>(その他) 高齢化率は高いが、高齢者が元気な地域。“長寿の郷” として、お年寄りが安心して暮らせる地域にしたい。</p> <p>(問題点) 「にぎわい」 についての課題として、菊水インターから山鹿・菊池方面には人が流れるが、玉名に来る流れが少ない。魅力はあるのに活かしていない。</p> <p>(問題点) 若者の流出。</p>
中部地域	<p>(商店街) 高瀬地区は人口減少が激しく商業から住居への転用も多いため、衰退の一途を辿っている。</p> <p>(問題点) 中心地市街地から築山地区への人 (街) の流れが進み、市街地の空洞化が目立つ。</p> <p>(都市基盤) 市中心にあり、人・車が多いがゆえに、通学路が狭く、安全性が確保されていない箇所も多い。交通量の増加や人口増加に対する施設整備が追いついていない。</p> <p>(都市基盤) 市街地ではあるものの、下水道が整備されていない地区も多い。</p> <p>(問題点) 老朽化した建物が目立つ。</p> <p>(安全・安心) 大学周辺は、街灯も少なく安全面の整備が遅れている。</p> <p>(コミュニティ) 大学は生涯学習の場として、地域住民や市民の活動の場として活用されつつある。</p> <p>(地域資源) 親水空間として活用しにくい状況である。</p> <p>(玉名温泉) 資源があるのに整備や広報活動が弱く、活かされていない。玉名温泉の足湯付近のスペースが上手く活用されていない。(屋根があればいろんなイベントが可能)</p> <p>(公共交通) 高齢化が進んでいるのに、路線バスが不便。車両のバリアフリーも未対応で、運行状況も非効率な感がある。</p>
北部地域	<p>(自然環境) 小袋山の自然が豊富だが、それをどう活かすかが課題。登山ルート of 整備もされていないので、整備されれば登山者も増える。</p> <p>(自然環境) 深刻な渇水問題やホテルの減少等、新幹線整備によるデメリットも多い。</p> <p>(地域資源) 農作物、特においしい米が採れるが、渇水問題による影響がある。</p> <p>(公共交通) 公共交通が不便であり、交通弱者対策が遅れている。お年寄りが多いが商店がなく、買い物もタクシーを利用している。乗り合いタクシーのようなものが必要。</p> <p>(地域資源) 史跡や古墳の文化財もたくさんあるが、PR が下手で活かされていない。</p> <p>(理 念) 働く場の確保、若者が定住できるようなまちを目指すべき。</p> <p>(理 念) 都市計画だけでなく人口減少・少子高齢化・働く場の確保など総合的な観点から検討を進めるべき。</p>
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1市3町合併した玉名市なので、他の地域のことなど新たな発見もあったと思う。 ・ 人口減少の問題や安全安心の課題など共通の問題もある。 ・ 若者が定住できるまちづくりというのが共通していたと思う。20年後、次世代に引き継ぐまちづくりを進めていきたい。 ・ 今日、たくさん出てきた意見を都市マスの参考にしたい。